

青森県公共事業事後評価に関する意見

(平成27年10月)

青森県公共事業再評価等審議委員会

目 次

- 1 平成 27 年度公共事業事後評価対象事業に係る
県の評価結果に対する委員会意見 1

- 2 青森県公共事業再評価等審議委員会委員名簿・審議経過 5

平成 27 年度公共事業事後評価対象事業に係る県の評価結果に対する委員会意見

当委員会は、平成 22 年度に完了した 50 事業（農林水産部 25、県土整備部 25）の中から、以下の 4 事業について審議した。

<選定理由>

- ・事業効果等の確認が特に必要と判断する事業（1 番、2 番、3 番、4 番）
- ・当初計画と実績との差が大きく、同種事業の計画・調査の在り方等に反映させる必要があると判断する事業（1 番、2 番、3 番、4 番）

個別事業に係る委員会意見

番号	事業名 箇所名等 (市町村名)	全体事業費 (千円) 工期	県の評価結果(概要)	公共事業再評価等 審議委員会意見
1	防災ダム事業 五戸川 3 期 (新郷村)	683,000 H13～H22	<p>(事業効果の発現状況)</p> <p>本事業の実施により、ダムの洪水調節機能が維持され、五戸川沿岸において大きな洪水被害が発生していないことから、ダム下流の安全を確保する事業効果の発現が確認された。</p> <p>(改善措置・再度の事後評価の必要性)</p> <p>アンケートの結果、改善を求める回答は非常に少なかったことから、改善措置の必要性はないものと考ええる。</p> <p>全体としては、事業目的が達成されていることから、再度の事後評価の必要性は認められない。</p> <p>(今後に向けた留意点)</p> <p>アンケートの結果、ダムの存在は知っているが事業については知らないという住民が約 60%いたことから、今後は受益農家以外にも事業着手前に説明会を開催するなど事業の周知を図るとともに、地域のニーズに的確に応えられるよう、老朽化した施設の把握に努め、適切に対策を講じていく必要がある。</p>	県の評価結果については異論がない。

番号	事業名 箇所名等 (市町村名)	全体事業費 (千円) 工期	県の評価結果(概要)	公共事業再評価等 審議委員会意見
2	広域漁場 整備事業 三厩 (外ヶ浜町)	1,097,000 H13～H22	<p>(事業効果の発現状況)</p> <p>本事業の実施により、魚礁漁場付近では、多くの魚が集まっていることが水中カメラや釣獲調査で確認されたほか、漁獲効率の高い漁業が可能となっており、施設整備による生産量及び出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果の発現が確認された。</p> <p>(改善措置・再度の事後評価の必要性)</p> <p>当魚礁漁場は、事業実施前の段階において地元組合員等の理解を得た上で整備したものであるが、アンケートでは魚礁の設置場所等について改善点があるとの意見があったことから、今後、漁業者に対する整備内容等についての十分な周知を行って、より深い理解を得ていく必要がある。</p> <p>アンケート回収率が40%と低かったことから、漁業の繁忙期を避けるなど調査時期の設定を工夫する必要があるが、全体としては、事業目的が達成されていることから、再度の事後評価の必要性は認められない。</p> <p>(今後に向けた留意点)</p> <p>同種の事業の基本計画については、県が推進する「環境公共」に基づき、漁業者、地域住民等の構成員からなる「地区環境公共推進協議会」で整備ニーズを十分に把握し、反映させた上で策定するとともに、同協議会等を通じて、事業目的や整備内容、その決定根拠の周知を図っていく必要がある。</p>	県の評価結果については異論がない。

番号	事業名 箇所名等 (市町村名)	全体事業費 (千円) 工期	県の評価結果(概要)	公共事業再評価等 審議委員会意見
3	海岸高潮 対策事業 横道海岸 (おいらせ町)	7,105,000 S48～H23	<p>(事業効果の発現状況)</p> <p>本事業の実施により、東日本大震災のような「最大クラスの津波」に対して堤防の嵩上げによる減災効果の発現や、ヘッドランド工整備による海浜の安定効果の発現が確認された。</p> <p>(改善措置・再度の事後評価の必要性)</p> <p>アンケートの結果、堤防の嵩上げが必要との意見があったが、本事業は「比較的頻度が高い津波」への対策であり、「最大クラスの津波」に対しては、津波防災地域づくり法等に基づくソフト対策で対応していくことを町と協力しながら周知していく必要がある。</p> <p>全体としては、事業目的が達成されていることから、再度の事後評価の必要性は認められない。</p> <p>(今後に向けた留意点)</p> <p>同種の事業において、堤防の高さは重要な事項であり、注目度も高いことから、計画段階から住民に対する十分な説明を行う必要がある。</p>	県の評価結果については異論がない。

番号	事業名 箇所名等 (市町村名)	全体事業費 (千円) 工期	県の評価結果(概要)	公共事業再評価等 審議委員会意見
4	八戸港港湾 環境整備事業 緑地(第2ふ頭) 河原木地区 (八戸市)	2,997,000 H3~H22	<p>(事業効果の発現状況) 本事業の実施により、交流・レクリエーション機会を創出しており、今後の利用増加も見込まれることから、事業効果の発現が確認された。</p> <p>(改善措置・再度の事後評価の必要性) アンケートの結果、当該緑地に対するPRや案内が必要との回答のほか、緑地を利用したことがないと回答が多かったことから、ホームページでの情報提供や当該緑地へ至る案内版の設置等により、認知度の向上を図る必要がある。 全体としては、概ね事業目的が達成されていると判断し、再度の事後評価は必要ないとする。</p> <p>(今後に向けた留意点) 多くの市民が利用する事業にあっては、市民参加によるワークショップ等での意見を可能な範囲で反映させた整備計画の策定が必要である。また、より多くの人に利用してもらうため、事業着手段階から町内会、港湾関係者への事業説明会や完成予想図の設置等によるPRに努め、事業に対する市民への認知度を高めていく必要がある。</p>	県の評価結果については異論がない。

青森県公共事業再評価等審議委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
委 員	阿 波 稔	八戸工業大学 工学部 教授
委 員	長 利 洋	北里大学 獣医学部 教授
委 員	木 立 力	青森公立大学 経営経済学部 教授
委 員 長	武 山 泰	八戸工業大学 工学部 教授
委 員	藤 田 均	青森大学 薬学部 教授
委 員	松 木 佐和子	岩手大学 農学部 講師
委 員	松 富 英 夫	秋田大学大学院 工学資源学研究科 教授
委 員	宮 本 達 子	(株)ヴィナスフォート 代表取締役
委 員	山 下 成 治	北海道大学大学院 水産科学研究院 准教授

(9 名)

(敬称略・五十音順)

青森県公共事業再評価等審議委員会 審議経過

第 1 回 平成 27 年 6 月 2 日 (火)

平成 27 年度再評価対象事業に係る県の対応方針(案)の審議〔 8 地区 〕
 現地調査地区の選定
 再評価対象事業に係る委員会意見の決定〔 8 地区 〕

第 2 回 平成 27 年 7 月 24 日 (金)

現地調査 県道改築事業 むつ恐山公園大畑線葉色沢工区 (むつ市)
 地元関係者からの意見聴取及び意見交換
 現地調査地区の審議

第 3 回 平成 27 年 9 月 11 日 (金)

再評価対象事業に係る附带意見の検討
 再評価に関する意見書の取りまとめ
 平成 27 年度事後評価結果の審議〔 4 地区 〕
 事後評価に関する意見書の取りまとめ
 平成 28 年度事後評価対象事業の選定